

オンリーワン

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、共同で作成したものです。

マイナンバーカードの取得はお済みですか。マイナンバーカードは、身分証明書として利用できる他、オンラインでの行政手続きや、コンビニでの住民票等の取得、健康保険証としての利用も進められており、今後ますます使い道が広がっていくものとされています。せっくなのでマイナポイントがもらえる機会にカードを作ろうと思い、交付申請書のQRコードをスマホで読み込むと、想像以上に簡単に行う事ができました。母親は、市役所の窓口で登録申請を行いました。証明写真の撮影もしてくれてスムーズに手続きを行う事ができたそうです。情報を収集し上手く便利に使っていききたいと思います。

(支援センター 久保)

令和3年度障がい者パソコン講座(前期)のご案内

西条市障害者相談支援センターでは、障がいのある方を対象にパソコン講座を開催します。パソコン技術を得るだけでなく、参加者同士の交流も目的とした講座です。興味のある方は、一緒に勉強してみませんか。

日程：令和3年5月～令和3年8月 金曜日(全10回) 時間：13時30分～15時30分

パソコンの基本的な操作を学ぶ講座ですので、初心者の方や、久しくパソコンを使っていない方も大歓迎です。それぞれのペースに合わせて進めていきます。受講生と講師と一緒に学び合う講座をめざしています。休憩時間は、情報交換やおしゃべりをしリラックスして過ごしています。お気軽にご参加ください。

令和3年5月	21日	28日		2回
6月	4日	11日	25日	3回
7月	2日	16日	30日	3回
8月	6日	20日		2回

内容：ワードやエクセルの基本操作、名刺・暑中見舞づくりなど

費用：受講料無料(テキスト代等として1000円程度の実費負担)

対象者：在宅障がい者 10名程度

※申し込み多数の場合は抽選

場所：西条市小松公民館1階 パソコン室

講師：障がい当事者グループ オンリーワン

締切り：令和3年5月14日

連絡先：西条市障害者相談支援センター

0898-64-2600 平井

※コロナウイルス感染防止対策のため、講座の実施が延期もしくは中止になる場合があります。予めご了承ください。

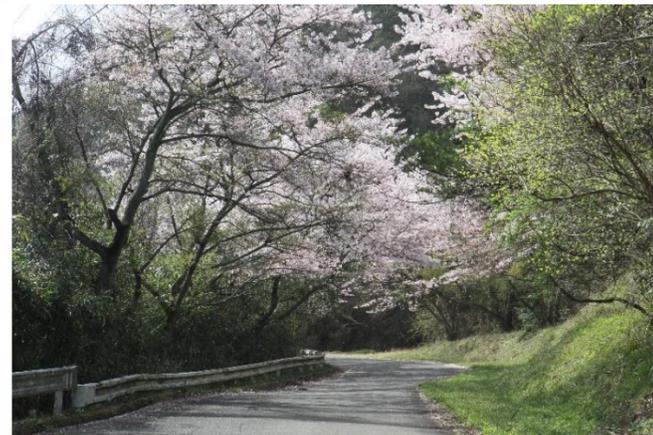


のぶちゃんのべすとしよっと

コロナウイルスの感染予防のため、色々な行事も中止になり外出もできず、なかなかベストショットも探せない状況が続いています。桜をはじめ花たちは、誰に言われたわけでもないのに咲くべき時期になったらちゃんと美しく咲いています。黒谷にも春が来て桜があちこちに咲きました。来年こそはゆっくりお花見がしたいものです。

オンリーワン 山内信子

題名：黒谷の春



わたしのつぶやき

2021年に入り、ん？春？冬？と気まぐれだった時期を越し、暖かな春の季節がやってきました。重ね着1枚2枚と薄くなり、みなさまがそれぞれの春を楽しまれていることと思います。



3月の初め、産直の八百屋さんで見つけた身長10cm程の小さなたけのこ。初物です！すかさず手に取りお買い上げ。どう料理する？そうだ、シンプルに丸ごと焼くことにしましょう。早春の匂いを漂わせ焼き上がり、1枚2枚と皮をむき、身軽になった小さなたけのこにお塩を付け、アツアツ、ホクホク味わいました。期待を裏切らない春の味覚が口いっぱいになりとても美味しかったです。たけのこも随分と厚着をしていたもので、一口二口でお腹に納まってしまいました。

欲張って趣味のパン作りの話です。ドイツパンが好きで、意気込んで材料を大量購入していたので、畑に育ったパクチーを練りこみ、じっくり時間をかけ焼き上げました。クリームチーズにオイルを付けたり、好みの具材をサンドし、ほおばりました。



これからさわやかな初夏、そして夏本番へと移っていきます。いつの日も笑顔で過ごせますように。
(オンリーワン 菅 桂子)

編集後記

春号も皆様のご協力のおかげで発刊できました。今回もまだまだ書きたいことが多くありました。ボールを縫い合わせる様子は職人技だったそうです。よくよくみれば野球のボールって機械ではできないなと思いました。

令和3年度障がい者パソコン講座(前期)の募集をしています。興味のある方はぜひお問合せください。コロナ感染予防で窮屈な生活ですが、頑張っけて乗り切りましょう。
(オンリーワン 黒河 亮)

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布606番地1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600(代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp

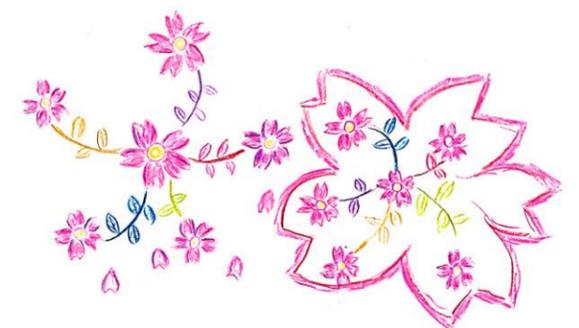


イラストコーナー

題名 桜の花

作者 山内慎介

春の桜をイラストで表現してみました。明るい春の雰囲気を出すために色合いを工夫しました。また、小さい桜の花が集まると大きな花のように見える様子を表現しました。



就労継続支援A型事業所 プラネットワークス新居浜 を訪問しました



就労継続支援A型事業所

障害者総合支援法に基づく就労継続支援のための施設です。一般企業への就職が困難な障がい者に雇用契約による就労の機会を提供するとともに、生産活動を通じて、知識と能力の向上に必要な訓練等を行います。



届いたばかりのボールです。



芯だけの状態になりました。



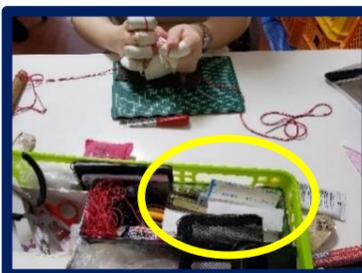
球体

周囲に穴が開いた不思議な形の平らな白い革

硬式野球ボール



余りの革で作った、指サックです。なるほどと思いました。必需品ですね(*^-^*)



デスクの道具入れの中には目打ちやボンド等の他に絆創膏を発見👁



真剣な表情の生活指導員による、出来上がったボールのチェックです。



合格かごに入ることが出来たボールたちです。これから再び球児たちの元に戻って熱いプレイを共にすることでしょう。
(^o^)/

プラネットワークス新居浜は 2014年 11月に開設しました。主な仕事は、硬式野球ボールの修繕作業です。現在、愛媛県内 23校 14チーム (37団体) のボールの修繕をおこない、県外からの依頼もあります。今回初めて作業の様子を拝見しました。かごには依頼してきた団体名が書いてあり、甲子園で聞いたことのある学校名や社会人チーム、ボーイズリーグの名前などがありました。どのチームもボールを大切に使用していることに感心しました。

毎日の練習で使う練習球は、糸は切れ、革は剥がれたボロボロの状態が届きます。泥と、球児達の汗と涙がしみ込んだボール。まず表面の革を剥がします。次に芯だけとなったボールと型通りに裁断された白い革は、運命の赤い糸でがっちり縫い合わされていきます。しかし、縫い合わせる言っても簡単な作業ではありません。元々平面の革を球体にするのですから、引っ張って引っ張って革と革をきっちり縫い合わせていきます。素材が革なので一針刺すのに力が必要です。その上、糸の向きや重なり具合、縫い目の高さまで揃わないと合格品になりません。緻密な技術と力が必要な作業だと感じました。裁断した余りの革で指サックを作って作業されている方もいらっしゃいました。それでも、針で指を刺すことがあるので絆創膏がデスクの上でスタンバイしています。これは傷の手当というより、ボールに血液が付着しない為の気配りなのです。

ピッチャーにとってボールの縫い目は投球に関わる大事な部分なので、一球ずつ一針一針をじっくり検品し、良い出来のボールたちだけが合格となります。

ものを大切にし、ひととの繋がりを生み出していくという思いを込め、針と糸とで一球、また一球と仕上げていきます。「エコボールは、障がいのある私達と多くの皆さんを繋ぐ仕組みです。全国の作業所と野球に取り組む多くの方々がつながり、活動が広がって、大きなうねりとなるのが願いです」と、話をしてくださいました。

プラネットワークス新居浜
住所 : 新居浜市萩生 1100 番地 2
TEL : 0897-64-9800
E-mail : planetworksniihama@planet2001.c



当事者奮闘記

未来への足跡 (あしあと)

今回取材させていただいたのは、就労継続支援A型事業所『プラネットワークス新居浜』で働いておられる**矢原修司**さんです。

病気について

生まれつき左目が悪かったそうですが、高校の健診で心臓の異常も見つかり再検査、再々検査を受け、その結果『右脚(うきやく)ブロック』と診断されました。最初の病院では20歳まで生きられないと言われ、心配しましたが、他の病院で診てもらおうと大丈夫と言われてホッとしたそうです。セカンドオピニオンは必要ですね。その後、就職し働いていたのですが平成8年に肺炎を患って一カ月入院し、退院後、肺気腫、慢性気管支炎、喘息を併発し自宅で静養していました。平成12年に障害者手帳を取得したそうです。

就職の経緯

障がい者パソコン講座に参加されていた時、講座仲間が新聞に掲載されていたプラネットワークスの記事を教えてくれたそうです。そして自分で連絡を取り、体験をした後、2015年2月に就職されたそうです。とてもいい友達や上司に恵まれてよかったと言われていました。

ご家族について

矢原さんは西条市神拝在住で昭和35年生まれの現在60歳です。お父さんは小学生の時に亡くなり、お母さんと妹さんと三人暮らしでした。妹さんも結婚し、今はお母さんと二人暮らしですが、妹さんは実家の向かいに住んでいるので、何かと心強いそうです。お互いに頼りにしている存在とおっしゃっていました。

仕事について

以前はエコボールの修繕に携わっていたのですが、現在は様々な病院に納品する衛生用品を取り扱っている作業場で、10:30~15:30の時間働いています。今後も一般就労を目指して頑張っていきたいと話してくれました。

取材後記

矢原さん同様、私自身にもセカンドオピニオンが大切だという経験があります。これからも体調に気を付けて頑張ってください。応援しています。
(オンリーワン 柳瀬修二)

投稿コーナー

満開の桜の丘を想いながら描きました。コロナ禍でなかなかお花見に行くことができませんでしたが、来年こそは行けたら嬉しいなあと、願いを込めて。アマビエ様、お願いします。

パステルヒーリングアート 投稿者 初恵



桜の丘



アマビエ桜